

# 今年度末で使用休止 上越観光物産センター

藤野新田のリージョンプラザ隣にある「上越観光物産センター」は、来春からの施設使用を休止し、今後のあり方について、民間事業者等による利活用も踏まえて検討することとなりました。

これは、①施設が老朽化し、修繕工事に多額の費用がかかる見通しであること、②特産物の販売コーナーを担っている事業者が来春までに他の施設に移転する予定であ



り、通常は空き施設になる見込みであること、③利用者数がコロナ前から減少し、コロナ禍でさらに半減していることから収支が極めて悪化していること、などが主な要因であるとしています。

この施設は、1991年に建設され、市内の物産販売の他、大・中ホール、会議室、ギャラリーを備えた貸館施設として、30年あまりにわたって機能してきました。

その間、場所が当市の観光資源の近くではないことや販売する物産にも限りがあることなど、いくつかの問題が指摘されてきました。これを機会にそうした問題も含めて考える時期かも知れません。



## 旧市内の下水道マンホールのふた

いへん「物価高騰に追い打ちをかけるような引き上げはいかなものか」「今回は引き上げを断念することはできないか」等の異論が続出しま

が、各委員から「諸物価が高騰して市民生活はたいへん」物価高騰に追い打ちをかけるような引き上げはいかなものか「今回は引き上げを断念することはできないか」等の異論が続出しま

# 下水道料金引き上げ 提案に異論が続出

## 市は来春約9%引き上げを提案

市議会12月定例会には、下水道使用料、農業集落排水処理施設使用料、浄化槽使用料の引き上げ案が上程されています。引き上げの理由は、いずれも「今後の収支見通しを踏まえ、持続可能な事業経営に必要な収入を確保するため」としています。

このうち下水道使用料は、基本使用料を約6%、超過使用料を約9%引き上げるとしています。

料金引き上げの要因の一つとして、この間のエネルギー価格の高騰も挙げられています。主要な要因は全体としての収支見通しとのこと。今後3年間の見通しは、運営費用が約103億9千万円であるのに対して使用料収入は約96億3千万円で、約7億6千万円不足するとしています。

農政建設常任委員会の審議では、各委員から「諸物価が高騰して市民生活はたいへん」物価高騰に追い打ちをかけるような引き上げはいかなものか「今回は引き上げを断念することはできないか」等の異論が続出しま

した。

市側は、「3年に一度の見直しは物価高と重なった。ここで上げておかないと、後の負担が重くなる。弱者に対しては支援の手を打っていく」「この時期の引き上げによる市民生活への影響について庁内でも議論したが、安定した事業の持続が必要であり、今後の収支を考えると引き上げが必要であるという結論に達した」と主張し、提案に固執しました。

こうした議論を受けて採決が注目されましたが、結局、異論を唱えた委員を含め全員が引き上げに賛成するという結果になりました。

なお、日本共産党議員団は、この委員会に所属している議員がいないため、採決には加わっていません。

今回の引き上げは弱者だけでなく、下水道などを使用しているすべての人たちに負担がかかるものです。

そこで党議員団は、使用者負担も増やさないよう、ため込んだ財政調整基金を躊躇なく取り崩して補填すべきであるとして、使用料引き上げに反対しています。

# 「農業守れ」の陳情を不採択

市議会農政建設委員会では、農業に関する陳情の審査も行われました。

陳情は、①「水田活用直接支払交付金の見直し」を中止すること、②物価高騰に対する支援策を拡充すること、③国連が推進する「家族農業の10年」成功と食糧自給率向上をめざすこと、④学校給食に地元産農産物を提供し、給食費を無償にすること、⑤輸入農産物の残留農薬検査を徹底し、農薬が基準値を超過する農畜産物が市場に流通しないようにすることの5点を国に求める意見書に関するもの。どの項目も極めてまっとうであり、農業者だけでなく多くの市民の切実な願いです。

ところが委員会の審査では、「農業者戸別所得補償制度は以前の政権がやったものだ。財源に土地改良費を充て、土地改良にゆがみが生じた」「学校給食の無償化には16億円かかる。これを負担するのは無理だ」「陳情は国の農業政策の転換を求めている。今の政策には修正すべき点もあるが、(基本的には)これまでに農業を守ってきた」などの反対意見のみが出され、全員反対で不採択となりました。(党議員の所属なし)

なお、日本共産党議員団は、この陳情は極めて妥当であることから賛成しています。

**日本共産党上越市議員団ニュース**  
No.774 2022年12月11日

連絡先 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)  
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))